

地方創生関連交付金の検証について

事業名	商店街の景観・ホスピタリティ向上事業						
担当課	産業経済部商工観光課		事業実施年度	令和元年度			
事業の概要	まちづくりの推進や市街地の魅力の向上の為に、商店等を利用する住民・市街地を周遊する観光客が気軽に休憩をとることができ、かつ、地域交流の場として活用できるような滞留空間を整備・活用することにより、商店街の景観や市内外の周遊者に対するホスピタリティを向上させ、「市街地そのものの魅力の向上」を図る。		市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす			
			交付金の名称	地方創生推進交付金			
			総事業費	令和４年度：－（令和元年度から３年度：33,861千円）			
			交付金額	令和４年度：－（令和元年度から３年度：16,930千円）			
重要業績成果指標（KPI）	指標名称		基準値（H30）	R3実績値	R4実績値	R5目標値	補足説明
	KPI①	店前景観整備事業を活用した商店等の売上げの向上率	0%	－6%	2%	90%	
	KPI②	売上げアップ店内改修モデル事業を活用した商店等の売上げの向上率	0%	27%	28%	90%	
	KPI③	店前景観整備事業により作成した店前景観モデルデザインを利用した商店等の数	0件	14件	19件	30件	商工観光課調査
	KPI④	市街地に賑わいがあると思う市民の割合	11.1%	13.8%	15.9%	20.5%	アンケート調査
活動状況	○令和４年度に実施した主な事業 ・令和３年度にデザインした店前・店内デザインモデル店舗の改修 ・整備した滞留空間の維持管理		主な効果	コロナ禍により、目標としていた売上およびモデルデザインを利用した店舗改修を実施することができなかった。 聞き取り調査の中では店舗改修を実施した事業主から改修内容に否定的な意見はなく、利用者からも好評をいただいている。			
今後の方針	・「モデル店舗」については、事業の実施後もモニタリングを継続するとともに、他の商店等の経営者の研修に活用する等、市街地の賑わい創出のための素材として、中・長期的に活用する。						

地方創生関連交付金の検証について

事業名	商店街の周遊性の向上に資する観光拠点の整備事業						
担当課	教育委員会事務局生涯学習課		事業実施年度	令和元年度			
事業の概要	瀧澤家住宅の魅力を向上させ、来館者の増加を図るとともに、氏家駅から徒歩で来館するように誘導することで氏家駅から瀧澤家住宅までの間にある商店街の利用者の増加を図る。		市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす			
			交付金の名称	地方創生拠点整備交付金/地方創生推進交付金			
			総事業費	令和４年度－（令和元年度：95,900千円/52千円）			
			交付金額	令和４年度－（令和元年度：25,868千円/26千円）			
重要業績成果指標 (KPI)	指標名称		基準値（H29）	R3実績値	R4実績値	R4目標値	補足説明
	KPI①	施設の入館者数	4,768人	3,480人	7,629人	10,400人	生涯学習課調査
	KPI②	空き店舗への出店数（H30～R4累計）	0店	16店	21店	8店	商工観光課調査
	KPI③	民間事業者による瀧澤家住宅を活用した旅行企画数	0件	0件	0件	8件	生涯学習課調査
	KPI④						
活動状況	○令和４年度に実施した主な事業 ・桜づくし花づくしー島田恭子作品展（3/19～5/22） ・さくら市盆栽会作品展（5/27～5/29 6/3～6/5） ・うのはな手まりの会作品展（6/25～7/24） ・瀧澤家住宅夏休み企画～小さな博物館（7/30～8/28） ・U-clid 5 展（10/1～11/6） ・永遠の技 瀧田family展（11/12～12/18） ・新春を寿ぐ いけばな草月流（1/7～1/29） ・第20回 氏家雛めぐり（2/4～3/5） ・春の訪れ 栃木日展小品展（3/11～4/16）		主な効果	瀧澤家住宅を活用した展示やイベント等を通じて、施設の魅力発信を行い、来館者が増加した。			
今後の方針	新型コロナウイルス感染症の今後の感染の広がりや国や県の動向を見ながら、瀧澤家住宅設置の目的に沿った公演、講演会、ワークショップ、イベント等の事業実施の検討や貸し出しスペースの利用促進を行っていく。						